

時代に取り残された学校現場 その2

中・高校教育施策の立て直しを考える

第2回シンポジウムの狙い

前回シンポジウムでは、小学校の教育現場の疲弊ぶりを報告し、その対応施策について意見交換しました。今回はこれを受け、さらに中・高校教育はこれでいいかというテーマでシンポジウムを展開します。

主催 認定NPO法人 21 世紀構想研究会

開催日時 2023 年 3 月 11 日（土）午後 1 時半～同 4 時

会場 日本記者クラブ 10 階大ホール

シンポジウムは、同時に YouTube 配信も行います。

参加費 無料

パネリスト 安西祐一郎



1946 年生まれ、慶應義塾学事顧問・日本学術振興会顧問・公益財団法人東京財団政策研究所所長。1974 年慶應義塾大大学院修了、工学博士、博士（哲学）。慶應義塾長、日本学術振興会理事長、中央教育審議会会長などを歴任。主な著書、『教育が日本をひらくーグローバル世紀への提言』（慶應義塾大出版会）、『教育の未来』（中公新書ラクレ）など。

パネリスト 漆紫穂子



1961 年生まれ。品川女子学院理事長。早稲田大学国語国文学専攻科及びスポーツ科学研究科修了。国語教師を経て現職。教育再生実行会議委員、行政改革推進会議構成員等。「28 プロジェクト～28 歳になったときに社会で活躍する女性の育成」を教育の柱に、企業コラボ、起業体験プログラム等、社会と子どもを繋ぐ教育を実践している。著書に『女の子が幸せになる子育て』など。

パネリスト 工藤勇一



1960 年生まれ、東京理科大学理学部応用数学科卒、山形県内の中学及び東京都内公立中学教諭、目黒区教委、新宿区教委教育指導課長など。千代田区立麴町中校長で自立重視の教育改革で実績。横浜創英中学・高校校長。教育再生実行会議委員、経産省の臨時委員、内閣府の専門委員などを務めている。主な著書「学校の当たり前をやめた」「15 歳からのリーダー養成講座」など。

モデレーター 橋本五郎



1946 年生まれ、慶應義塾大学法学部卒、読売新聞政治部、論説委員、政治部長などを歴任。読売新聞社特別編集、日本テレビ系などの報道キャスター。主な著書、『宿命に生き 運命に挑む』（藤原書店）、『新聞の力 新聞の読み方で世界が見える』（労働調査会）、『総理の器量 政治記者が見たリーダー秘話』（中公新書ラクレ）など。

申込み方法

25 周年記念シンポジウム 申し込みはこちら→

問い合わせ：認定 NPO 法人 21 世紀構想研究会事務局

E-mail: info@kosoken.org

[TEL:03-6447-5901](tel:03-6447-5901) (受付時間 10:00～18:00、土・日・祝日を除く)

